



学校教育目標

「真実、自律、共生、知性」の心を自ら求めみがき、
「生きる力」を育む、心豊かでたくましい生徒の育成

協働型学校評価の到達目標

他者を思いやる心を育み、
自他のために最後までやり遂げることのできる生徒の育成
～達成感や成就感を実感させ、自己有用感を持たせるために～

令和3年 年始全校集会校長挨拶より

校長室の窓越しに、校庭で初練習する1, 2年生の姿が見えました。新型コロナウイルスの感染拡大など、何となく暗くなっていた気持ちに、光明が差し込んできた感じでした。元気に挨拶する声、はつらつと動き回る姿は、沈みがちな気持ちを元気付けてくれました。

さて、2021年のスタートにあたり、今日は「諦めない気持ち」と「思いやりのある対応」の大切さについてお話しします。

私は「おうち時間」の中で「諦めなければ何が起こるかわからない」というシーンと二度出会いました。一つ目は年末の高校バスケのウィンターカップでの明成高校の逆転劇です。最終第4クォーターで13点のビハインドから追いつき、残り5秒で突き放しての逆転優勝でした。二つ目は箱根駅伝での駒澤大学の最終10区で3分19秒差をひっくり返しての逆転優勝です。どちらも観ている人たちの大半は「逆転は無理だろう」と諦めていたに違いありません。しかしドラマは起こりました。どちらもこれまで必死に努力してきた自分を信じ、仲間を信じることで奇跡を呼び起こしました。自分にもできるのではないかという勇気をくれた頑張りでした。

また、こんなニュースもありました。それは今直面している新たな問題についての特番でした。いくつかあった中で、私が一番気になったのは、新型コロナウイルスに感染してしまった人とどう向き合っていくかという問題でした。陰性になっても心へのダメージが癒えず、職場や学校に復帰できない人が増えているそうです。周囲に感染させてしまったという自責の念や周囲から特別な目で見られているのではないかという恐怖心、見えないところでの誹謗中傷や心ないうわさなどによるものです。

徹底した予防対策をしても感染してしまう場合があります。つまり誰でも感染してしまう可能性があるのです。明日は我が身となるかもしれないのです。

学校の目標の一つである「思いやりの心」を全面にだし、一つの言葉が相手にどのように伝わるかをしっかりと考え、言葉の重さを感じながらの生活をお願いします。それがいじめの撲滅にもつながります。年末に行ったアンケート調査や面談で、いろいろな悩みや心配ごとを打ちあけてもらいました。勇気を出して相談してくれたことに、私たちは全力で応えていきたいと思っています。未だ自分本位で、心ない行為や言葉が相手を傷付けていることに気付いていない人もいました。これまで「いじめ0目指し隊」の活動などを通して、いじめをなくそうという全校生徒一人一人の意識が高まり、その結果、かなり少なくなってきました。もう一度みんなでその思いを確認し合い、自分の言動を見直し、リセットさせてください。

最後に、もしも悩みや不安があったならば、どの先生でもいいです。家族でもいいです。勇気を出して相談してください。皆で協力しながら不安を取り除きたいと思います。

今日は「諦めない気持ち」と「思いやりのある対応」の大切さについてお話ししました。さあ、新しい年が始まりました。まだまだ続くコロナ対策をしっかりとやりながら、個々の目標達成に向けて粘り強く、一步一步前進していきましょう。